田舎で二人暮しの老夫婦――

おとうとの結婚に反対する
エリートサラリーマンの長男。

家族が直面した
同和問題に
鋭く問いかけます。

文部科学省選定

花咲く日

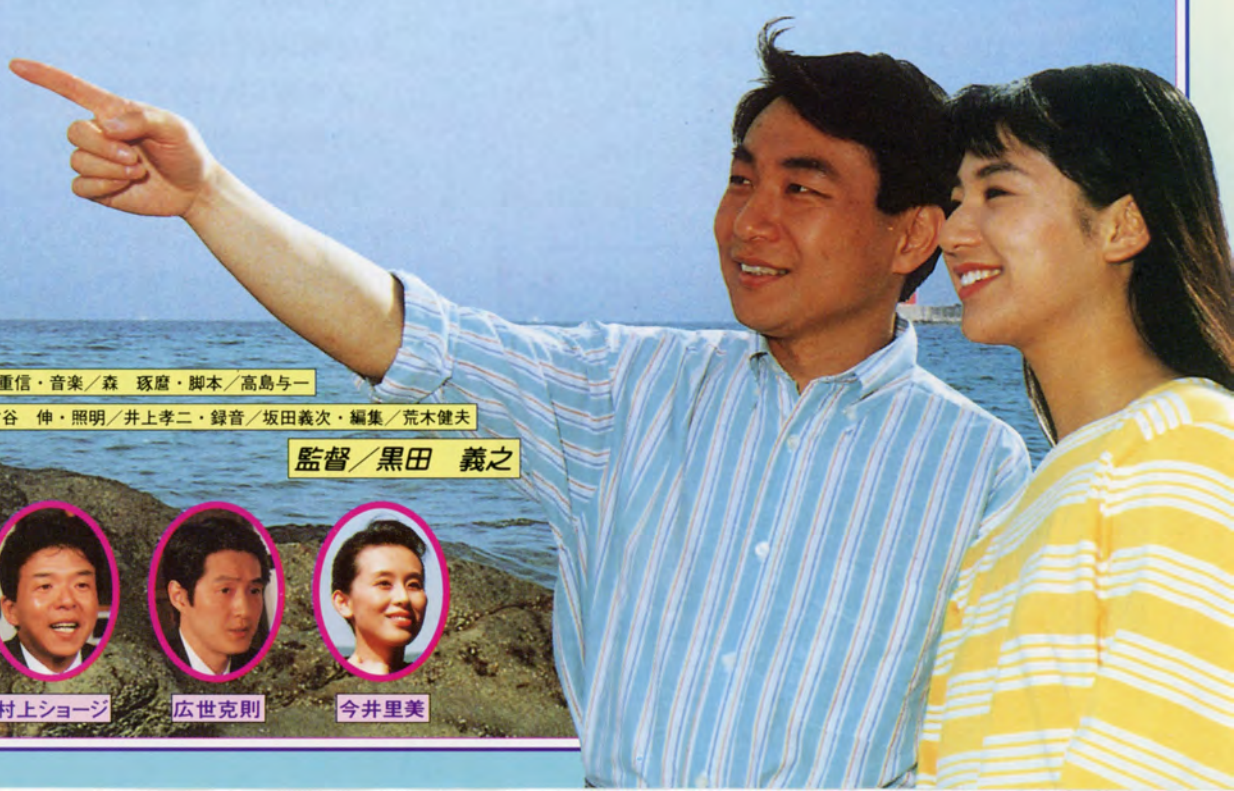
同和問題啓発映画

企画／和歌山県同和委員会

優秀映画鑑賞会推薦
厚生省中央児童福祉審議会推薦
青少年育成国民会議推薦
映倫青少年映画審議会推薦

制作／共和教育映画社
制作協力／映画村エンタープライズ
東映京都撮影所

田村高廣
三波豊和　三條美紀　武田京子　原田大二郎
多々良純



製作／八頭司　享
プロデューサー／管田　浩・八頭司重信・音楽／森　琢磨・脚本／高島与一
撮影／古谷　伸・照明／井上孝二・録音／坂田義次・編集／荒木健夫
監督／黒田　義之

村上ショージ

広世克則

今井里美

カラー作品

同和問題啓発映画

花咲く日

悟郎の恋人真理　武田京子
長男敏明　広世克則
長女幸子　今井里美
幸子の夫　村上ショージ
敏郎の妻清子　三條美紀
三浦の爺さん　多々良純
高校の先生　原田大二郎

文部科学省選定　上映時間　55分

母親の病気、両親の老いへの直面、同和地区出身の恋人と次男の結婚問題。

家族が同和問題に直面し、各人が人間の尊厳と差別の実態の中で、その重要性を理解し同和問題を解決していく人権啓発ドラマ。――！

《あらすじ》

高木敏郎(63)は和歌山のある漁村で漁師をしていて、妻の清子(61)と二人暮しである。長男の敏明(37)は大阪の大きな商社で部長をしているエリート・サラリーマンである。長女の幸子(34)は小学校の教師で、ＪＲの車掌をしている人の良い井上浩一(35)と結婚していて、それぞれ幸せに暮している。末っ子の悟郎(30)は、劇作家になるという夢を追い続けていて、今だに独身で、中華料理店でアルバイトをしながら仲間と劇団を作り、芝居に夢中で、その責任者をしている。

田舎にいる敏郎夫婦にとって、この悟郎のことが唯一の心配の種だった。

先生のあの一言が私に幸せの笑顔咲かせてくれました。

悟郎は、劇団員の仲間で看護婦をしている桑原真理(23)に好意を寄せ、真理に思いをうちあける。真理は「気持ちはうれしいが、同和地区出身だから・・・・・」と苦しい胸の内を打ち明ける。悟郎は、今の時代にそんなことおかしい、僕には関係ない、二人で頑張ろうと真理を励まし将来を約束するのでした。

しかし、悟郎と真理の結婚には、兄の敏明が強硬に反対した。

そんな時、体調の思わしくなかった母の清子が糖尿病が悪化して入院してしまう。

高木家にとって悟郎の結婚問題に続いて清子の看病と問題がふりかかってくる。

悟郎は、入院した母のことも心配だが一人暮らしになった親父のことも心配だった。兄の敏明は仕事仕事で親のことはほったらかしで、「田舎にいる幸子にまかせとけ」と無関心である。悟郎にとって自分の結婚問題と、母の看病のことと、これから先の親の扶養と悩みはいっぱいだった。

父、敏郎は悟郎のことが心配で、隣家の一人暮らしの三浦の爺さん（72）に相談する。三浦の一人娘、美智子は、昔、同和地区出身

企画／和歌山県同和委員会
制作協力／映画村エンター

製作　八頭司享
プロデューサー　管田浩　八頭司重信
脚本　高島与一
音楽　森琢磨
製作デスク　竹田治
制作進行　奥田太一
スチール　下村準一
録音助手　山中秋男
照明助手　安田学　井上雅嗣　山口傑
撮影助手　湯川達也　西田圭司
編集助手　山本浩史　小磯眞佐美
助監督　河野治二
メーキャップ　石塚真美
装飾　山田久司
整音　浜口十四郎
記録　谷慶子
編集　荒木健夫
録音　坂田義次
照明　井上孝二
撮影　古谷伸
監督　黒田義之

●主なるキャスト●

高木敏郎　田村高廣
次男悟郎　三波豊和

の男性と恋をした。三浦は世間体や、親戚の思惑を気にして美智子を家から追い出してしまって、今だに一人苦しんでいるのでした。ある日、三浦は美智子と、孫の利彦が幸せに暮らしているのを見て、自分の間違いに気付いたことを敏郎に……「悟郎ちゃんを幸せにしてやれ。同じ人間や、どこが違うんじゃ、おい、言うてみい」と目に涙を浮べながら敏郎に話すのでした。

母の清子は、真理の献身的な看病もあって退院する日が来た。退院祝の準備中、敏明と幸子が真理のことで喧嘩になった。

幸子は、見栄や外聞を気にしている敏明に鋭く非難するのでした。

悟郎達の劇団の公演の日が来た。敏郎も清子も観に来ている。敏明は「お前も観に行ったれ、兄貴やないか」と敏郎に言われ渋々観に行く。しかし、悟郎達の芝居は真面目で、皆が一生懸命に取り組んでいる姿に敏明の心は大きく揺れ動くのでした。無事に公演も終り打上パーティーに敏郎も清子も出席していた。

敏明は、そのパーティーの席に入る勇気がなく入口まで来たが立ち去る。それに気付いた悟郎と真理は後を追う。悟郎は敏明に「兄ちゃん、今日来てくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝える。敏明は自分の間違いに気付き真理に心から「本当にすまんことした。俺が間違ごうてた。堪忍してくれるか」と真理の手を握る。真理も涙ぐみながら声にならず「……お兄さん」と力強く手を握り、三人の嬉し涙がほほをつたっているのでした。

翌日、敏郎と清子は和歌山へ帰り、恋人岬で、悟郎と真理、そして三浦の爺さんの行末をしっかりと見守ってやろうと語り合うのでした。その老夫婦の目に、砂浜から突き出ている小さな岩山に一輪の美しい花が咲いているのでした。

「花咲く日」主題歌

ふるさとの心

作詞　八頭司享
作曲　森琢磨
唄　三波豊和
武田京子

❶港　坂道　漁師のまちは
夜明を待たずに　船出の音が
寝ている家族に　響きます
あゝ父さんが
いった　あの言葉
ふるさとの　潮のかおり　わすれるな
あゝ　とうさん
ふるさとの　故郷(ふるさと)の　心　ありがとう

❷あの時　叱ってくれました
辛いことも　あるけれど
負けずにしっかり　生きるんだ
あゝ先生の
あの一言が
しあわせの笑顔　咲かせてくれました
あゝ　せんせい
ふるさとの　故郷(ふるさと)の　心　ありがとう

❸子供のころ　喧嘩して
くやし涙で　帰ったときに
そっと　やさしく　だきしめてくれた
あゝ母さんの
あたたかい　ぬくもりは
心の中に　大切にしまってる
あゝ　かあさん
ふるさとの　故郷(ふるさと)の　心　ありがとう

制作／共和教育映画社
プライズ・東映京都撮影所

映画の視点

- 今までは、思いもよらなかった同和問題に直面した家族が、それぞれ自らの問題として学習を深め、理解していく姿から学んで下さい。
- 現代社会に部落差別があることがまちがいであると恋人の真理を励まし、差別とたたかい、悩む悟郎の姿を通して、人間の尊厳を追求する勇気について学習を深めて下さい。
- 見栄や外聞を気にしすぎ、自分の身内にふりかかる同和問題から逃げようとする長男（敏明）の姿を通して、その誤りについて学習を深めて下さい。
- 差別に直面した真理の悩みに正しくアドバイスをする高校の先生の姿を通して、差別を見抜き、差別の誤りを正しく教え、人を育てていく大切さについて学習を深めて下さい。
- 世間体や見栄にこだわりを持ち、自ら差別したことに気付きながら一人苦しんでいる三浦の爺さんの姿から、自分の生き方の問題として、同和問題を正しく理解するための学習を深めて下さい。
- 同和問題を頭で理解していた幸子が、真理の人間性にふれて、自分の生き方の問題として、本当に理解していく過程から学んで下さい。
- 現代社会に実在する一般差別と部落差別とのかかわりと違いについて、学習を深めて下さい。
- この映画を通して、部落差別の実態の中で、一人ひとりが人間の真実の姿にめざめ、心の交流を深めていく道程を学習して下さい。

頒布価格 ⑯¥231,000 Ⓥ¥105,000（税込） 上映時間 55分

共和教育映画社
URL http://www.kyowafilm.com E-mail avl@kyowafilm.com

〒533-0031大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター
TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255